

## 【報告事項】

---

### 1. 平成27年度事業計画について

---

平成27年度事業計画について、一般社団法人しまね地域医療支援センター定款第40条の規定に基づき作成し、次のとおり報告する。

---

#### I. 事業計画策定に当たっての基本的な考え方

---

- 平成16年度に新たな医師臨床研修制度が導入されて以降、全国的に研修医が都市部に集中しやすい傾向にある。そうした中で、県内病院の魅力あるプログラムづくりや「オールしまね」で連携した研修体制の充実、地域枠学生に対する地元の市町村や医療機関の働きかけ等の成果により、平成26年度県内マッチング者数は増加した。

(平成26年度マッチング結果) 島根大学病院 25人 県内市中病院 29人 合計 54人

- 今後も中・長期的な視点で、県内の臨床研修病院をはじめ地域医療機関と大学があらゆる面で協力・連携し、県全体の初期研修医及び後期研修医の増加、若手医師の定着を図り、医師の地域偏在解消を目指していきたい。
- 初期臨床研修においては、大学病院、市中病院からなる基幹型病院とそれをバックアップする協力型病院・協力施設が相互に連携し、それぞれの強みを活かした多様な研修環境が提供できるよう、プログラムの弾力化、各病院の指導医同士の横断的な連携体制を構築する等“オールしまね”体制を強めて初期研修の充実を進めていく。
- また、地域が必要としている総合診療医の育成が急務であり、島根大学等と連携し、プライマリケアを学ぶ環境の整備や指導医の養成等、総合診療医のキャリア形成支援等の取組を行う。
- 支援センターとしては、若手医師のキャリア形成を支援し見守っていく“安心感”を与える組織であることが重要であり、以下の考え方に基づいて事業を展開していく。

若手医師に対しては、

- ・しまねを中心とした研修・勤務の充実度・安心感、地域の期待や魅力を伝達する
- ・地域医療に対するモチベーションの維持・向上を図る
- ・地域枠出身・奨学金貸与等の医師に対して、キャリア形成支援方針に基づき市町村、医療機関等と連携強化・意識共有を図りながら、濃密な個別フォローを実施する

大学に対しては

- ・地域枠出身・奨学金貸与等の医師の要望や地域の期待を的確に伝えて、それを反映した勤務の実現や地域の病院をローテートするシステムを構築するよう働きかける。
- 県外の医学生や研修医などの若手医師に対して、同じ診療科、出身地、先輩後輩などの人的つながりの中で、しまねでの研修・勤務の魅力を伝えるための広報や意見交換会などを積極的に行う。

---

## II. 事業計画

---

### 1. 医師のキャリア形成支援事業 (12,844 千円)

しまねの地域医療に貢献する志を持った若手医師が県内で安心して研修・勤務できるようキャリア形成を支援する。

#### (1) 医師面談・医療機関調整事業 (9,163 千円)

「しまね地域医療支援センターキャリア形成支援基本方針」を会員に周知・共有し、支援対象となる医師との面談を行って、個別のキャリアプログラムの作成を支援。

[平成 26 年度面談実績]

初期研修医 37 人、卒後 3 年目以上 42 人 合計 79 人 ※平成 27 年 2 月末実績

- ・地域の医療情勢や地域枠・奨学金の義務年限等を考慮し、研修先、勤務先や大学医局等の調整を通して、しまねを軸足にしたキャリアプログラムの作成を支援。
- ・地域枠や県の奨学金の貸与を受けた医師が新たに約 30 名誕生する予定。
- ・特に、県外の研修病院で初期研修を行う者に対して、早期に面談を行い、しまねで後期研修を行うよう働きかける。

#### (2) 新専門医制度支援事業 (3,681 千円)

新専門医制度についての情報収集や情報発信、医師の意識調査や分析を行い、大学等基幹病院には地域の病院を取り込んだプログラム作成要請をし、承認されたプログラムを取りまとめて一覧化する。

### 2. 充実した研修体制支援事業 (34,878 千円)

研修体制の充実を図るため、大学、初期臨床研修基幹病院、地域の中小規模病院、診療所等が連携して行う若手医師育成の取組を支援するとともに、しまねでの研修の魅力アップを図る。

#### (1) 研修ネットワーク支援事業 (9,955 千円)

県内で総合医・家庭医や精神科医等の育成のための県内ネットワークを構築し、研修体制の充実・支援を行う。

##### ①総合医・家庭医育成ネットワーク事業

- ・各医療機関間のネットワークづくり
- ・総合医・家庭医育成のためのプログラム作成・指導体制の整備支援  
(スキルアップセミナー、ブラッシュアップ講習会、学術講習会)
- ・総合医・家庭医の研修  
(先進地視察、研修会セミナー参加助成)
- ・医学生・研修医等を対象とした地域医療研修等の受入体制の整備  
(地域医療・家庭医療ワークショップ、学会参加助成)
- ・医療機関・医師会・行政等と連携した総合医・家庭医の普及啓発  
(PR活動、パンフレット) 等

##### ②精神科医キャリアアップ支援ネットワーク事業

- ・精神科医キャリアアップ研修会の開催
- ・短期研修参加経費の助成
- ・情報発信 等

### ③外科研修環境充実支援事業

- ・外科研修会の開催
- ・指導体制の充実支援（先進地視察等研修助成）
- ・普及啓発活動 等

## (2) 若手医師等研修支援事業（20,629千円）

### ①初期研修医合同合宿の実施

県内の初期臨床研修医のネットワーク化や研修病院間の協力・連携を図り、県内での初期臨床研修の魅力をアップさせるために、県内で初期臨床研修を行う研修医を一同に集めて1泊2日の合同研修会を開催する。

- ・日 時：平成27年4月3日（金）～4日（土）
- ・参加者：初期研修医1年次 約60名
- ・会 場：松江市内

### ②臨床研修環境充実支援事業 [事業の再編・拡充]

臨床研修病院が、“オールしまね”での臨床研修環境を充実させていく取組に対して支援を行う。県内の臨床研修病院が連携・協力しながら、医学生及び研修医の研修環境の整備を行うことにより、地域に貢献できる質の高い医師を養成し、県内への定着を促進することを目的とする。

#### ○臨床研修病院連絡会 [新規]

各初期臨床研修病院の特徴を活かしつつ、“オールしまね”の体制で初期臨床研修の充実を図っていくため、各臨床研修病院の担当医師、事務担当者が情報交換、意見交換を行っていく連絡会を定期的で開催する。

#### [検討予定項目]

- ・臨床研修プログラムの充実（県内病院の連携促進）
- ・研修医確保のための取組
- ・セミナーの実施について
- ・地域医療研修のPR 等

#### ○学生・研修医向け研修会の開催

研修会を開催し、県内の研修環境の充実を図る。

#### ○指導医向け研修会の開催

厚生労働省の定める「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づく講習会等を開催し、臨床研修指導医のスキルアップを図る。

#### ○評価試験

県内の初期研修医の研修目標到達度を客観的に評価し、各病院の研修プログラムの改善や充実に資するため、日本医療教育プログラム推新機構（JAMEP）が実施する「基本的臨床能力評価試験」受験を支援する。

#### ○病院見学旅費支援

県外での病院説明会で関心を持った多くの学生等に県内病院に見学に来てもらうことを促進するための旅費を支援する。

(3) 指導医等研修支援事業 (4,294千円) [事業の再編、拡充]

地域(へき地)勤務が求められる地域卒出身・奨学金貸与医師が増加しているため、その受け皿となる地域医療機関の指導体制の充実が若手医師の定着のための重要な要素であるため、地域の臨床現場における指導体制向上のための取組を行う。

①先進地視察

屋根瓦方式など、研修医から評価の高い指導をしている医療機関の視察研修を行い、県内での取組に反映させる。

②研修会の開催

研修医指導実績のある医師を招へいし研修会を開催する。TV会議で配信するなど、幅広く県内病院へ還元する。

③訪問(出前)研修

研修医指導実績のある医師を招へいし、個別に各圏域(病院)を訪問し、実際の診療現場において指導医と研修医へ指導を行う。

3. 研修医確保に向けた情報発信事業 (26,542千円)

島根大学医学部や島根県出身等で県外の大学に在籍している学生や初期研修医に対して、島根県の研修プログラムの魅力や“オールしまね”での医師の支援体制等をPRする。

また、多様なツールを活用して、後期研修医や指導医の生の声を提供し、しまねでの研修・勤務の魅力や意義を医学生、若手医師に伝える。

(1) 県内病院合同説明会等開催事業 (17,791千円)

①県内病院合同説明会等開催事業

島根大学医学生(主に5,6年生)をはじめ全国の医学生を対象に、県内の臨床研修病院が一堂に会して臨床研修プログラムや指導体制をPRする合同説明会を開催することにより、しまねの臨床研修の魅力を伝え、一人でも多くの学生に県内研修病院を初期研修先に選択してもらい、若手医師の確保・定着につなげる。

開催時期、会場、内容等は連絡会で検討し、多くの学生が参加できる形で実施。

②全国規模の病院合同説明会への出展

大阪、東京、福岡等で開催される研修病院説明会へ“オールしまね”で参加

- ・平成27年7月5日 レジナビ大阪
- ・平成27年7月19日 レジナビ東京
- ・平成28年3月 レジナビ福岡

③医学生・研修医合同交流会 in 大阪・東京・福岡

レジナビ出展にあわせて、その開催地周辺の医学生や若手医師(センター登録者、県内医師の同期、友人等)と島根県内関係者(レジナビ参加研修医、指導医等)との交流会を開催し、県内で研修・勤務する医師を増やす。

(2) 多様なメディアを活用した情報発信事業 (8,751千円)

“オールしまね”での若手医師の支援体制を周知するため、センターの取組や県内医療機関の研修体制のPRを行う。

①フェイスブック・ホームページ等を活用し、センターや大学、医療機関等の取組を発信

②支援センターマガジン、オリジナルグッズの制作

#### 4. ワークライフバランスの推進 (10,614 千円)

出産、育児、介護等による医師の離職防止、復職支援等の推進を図ることを目的に、県内ネットワークの構築、医療機関等の相談・支援体制の構築を図り、仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境を整備する。

##### (1) 復職支援体制構築事業 (8,069 千円)

###### ①相談窓口

出産、育児後の女性医師等が安心して職場復帰できるための「えんネット」相談窓口。

###### ②情報発信・情報提供

育児や介護、地域の子育て情報など、復職に対し必要な情報を発信する。

###### ③復職支援プログラム作成支援

オーダーメイド型の研修プログラムで安心して復職に向けた研修を支援する。

##### (2) ワークライフバランス支援体制充実事業 (2,545 千円)

###### ①働きやすい病院づくり研修会

離職防止や再就業の促進に関する具体策について他県の先進事例等を学ぶなど、医療機関、行政等の管理職の意識改革をねらいとする内容の研修会を開催。

###### ②医療従事者支援担当者ワークショップ

しまねの地域医療を守り育てるため、大学、医療機関、医師会、住民、行政等が地域医療の現状と課題を共通認識し、連携しながら地域に根ざした取組を推進していくことができるよう、キーパーソンとなる医療従事者支援担当者の人材育成を目的に研修会等を開催する。

###### ③女性医師等意見交換会

仕事に復帰したいと考えている女性医師等を対象に、情報交換やネットワークづくり、また、復職支援の企画等の意見を聞く場として、ランチミーティング等を開催する。

###### ④就労環境啓発支援

県内のチーム医療に携わるコメディカル等が、講習会等を通じてネットワークを構築し、病院内での役割の向上と県内全体のチーム医療の連携を図る。

#### 5. 関係機関との連携体制の構築 (2,912 千円)

島根大学医学部地域医療支援学講座や卒後臨床研修センターなど関係機関との連携を強化し、学生や若手医師を多方面からサポートする体制を構築する。

また、病院長トップセミナーや各会員との情報交換等を行い、県内全体での連携体制を強化する。

##### ①トップセミナーの開催 [新規]

県内の病院長等を対象に、キャリア形成支援方針やそれを実現するための病院の役割等についての共通認識・理解を深めるための、意見交換等を行う。

##### ②センター定例会議の開催

- ・開催日：毎週1回
- ・参加者：支援センター医師、事務局職員
- ・内容：センター事業の企画・立案、事業実施状況の報告、検証、課題等を協議・意見交換

③各会員意見交換

支援センターの認知度向上、お互いの課題把握と情報共有、センターへの要望などについて意見交換を行い、各会員との連携体制を強化する。

④島根大学医学部同窓会（萌雲会）等との連携

県外で活躍中の島根大学出身者、島根県出身者へ支援センターの取組を情報発信する。

6. 医師不足状況等の把握・分析（1,303千円）

県内の地域医療に資する調査・研究事業を推進し、医療状況の把握・分析を行う。

①県内の病院等勤務医師実態把握

島根県勤務医師実態調査を実施

②関連機関と連携した医師や研修医の情報収集

島根大学医学部と連携し、医学生や研修医との意見交換会を開催し、センター事業に対する意見やニーズを把握する。